

ロープ

～戦場の生命線～

開催レポート

12月5日（日）に、イーグレひめじ3階
あいめっせホールにて、国際理解映画上映会
「ロープ～戦場の生命線～」を開催し、86名
が参加しました。

この映画は、戦争の実態を1本のロープを
題材に、ユーモアを交えて表現した作品で、
カンヌ国際映画祭でも上映され、絶賛されま
した。



上映に先立ち、舞台であるバルカン半島の位
置やユーゴスラビア紛争について簡単に説明
しました。

観客のみなさんからは、「ユーゴスラビア紛争について理解を深めることができた」「人の争いの中には必ず弱い人間の犠牲がある」「最後のオチが良かった」などの感想が寄せられました。

エンディングでは、Where have all the flowers gone?という世界的に有名な反戦歌が流れました。日本では「花はどこへいった」という曲名で1960年代に流行したので、懐かしく感じられた方もいらっしゃったようです。

次回の上映会もお楽しみに！

